

# 「官民学連携モデルによる持続可能な地域共生社会の実現～コンディショニングから広がる日本一健康なまちづくり～」

## ＜目標＞

計画期間：～令和 8年 3月 31日

住民の健康寿命延伸と医療・介護費の抑制 コンディショニングを日常生活に根付かせ、健康行動を町全体に浸透させる。

介護人材による健康づくり推進 R-body ACADEMY介護コースを導入し、運動指導ができる介護士を育成。

官民学連携モデルの確立と全国展開 町（官）×R-body（民）×東川国際文化福祉専門学校（学）の連携で持続可能なまちづくりを推進。

数値目標（KPI）

コンディショニングイベント参加者数：2023年度5,000名 → 2028年度9,000名 公共ジム月平均利用者数：2023年度800名 → 2028年度1,200名

通所型サービス「はれのひ」体操参加者：2025年度1,390名 → 2028年度2,400名 介護コース学生の運動指導実習参加率：2025年度50% → 2028年度90%

## ＜PRポイント＞

**【介護人材がコンディショニングを担う全国初のモデル】** 介護士が住民の健康づくりに直接関わる仕組みを構築。

**【官民学連携による持続的体制】** 町・R-body・専門学校・地域の通い場が一体となった地域包括モデル。

**【国際性・波及性】** 留学生を含む人材育成により、国内外で展開可能なモデルとして発信。

## ＜現状・課題＞

- ・移住者による人口微増の一方、高齢化率上昇と積雪、地理的要因による運動不足・社会的孤立
- ・デイサービスセンター（通所介護）の休止を受け、官民学連携で通所型サービス事業を開始
- ・高齢者×学生×子育て世代の交流による健康づくりと教育が循環する仕組みの形成
- ・官民学連携による健康づくりを担う人材の育成

## ＜総合的な取組内容＞

### 教育

官民学連携による  
健康づくりを担う  
人材育成

### コンディショニングの普及

株式会社R-bodyによる  
コンディショニングセッションの実施

通所型サービス「はれのひ」  
での地域おこし協力隊による  
運動指導プログラムの提供

### 福祉領域との連携

### 交流人口の拡大

東川国際文化福祉専門学校 介護福祉科への  
コンディショニング指導者育成プログラムの導入



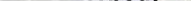
【フォローアップ欄】令和7年度以降における計画の進捗状況

## ＜継続的な取組を確保できる体制（図）＞

東川町  
・保健福祉課ライフパフォーマンス室  
・教育委員会  
(健康政策・教育・施設運営)



株式会社R-body  
(アドバイザー・  
プログラム提供)

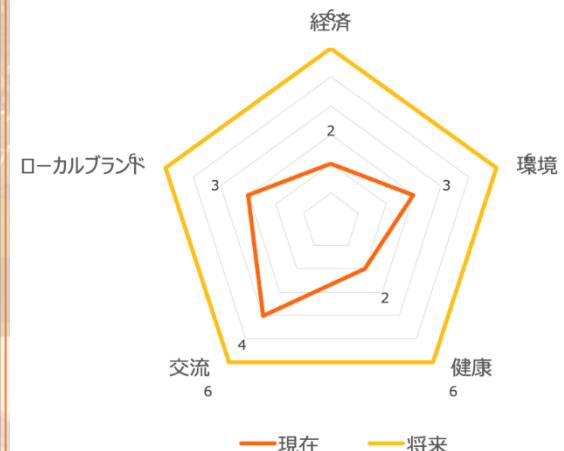


北工学園 東川国際文化  
福祉専門学校  
(実践の場・高齢者支援)



福祉施設「はれのひ」  
(地域住民)

## ＜セルフチェックシート＞



問合せ先・電話番号

東川町 保健福祉課 ライフパフォーマンス室  
電話：0166-82-2111